日野市のごみ情報誌 エコー

Vol.43
平成30年5月

発行／日野市環境共生部クリーンセンターごみゼロ推進課

利便性よりも未来環境
ごみゼロ社会をめざそう

5つのRで始まるキーワード

1 断る（リフューズ） Refuse
2 減量（リデュース） Reduce
3 何度も使う（リユース） Reuse
4 返す（リターン） Return
5 分別徹底（リサイクル） Recycle

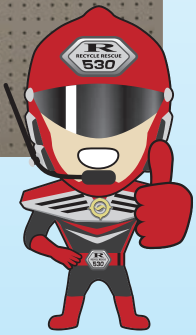
〒191-0021 日野市石田 1-210-2 ☎ 042-581-0444 FAX 042-586-6606 ホームページ http://www.city.hino.lg.jp/

「エコー」は市HPでもご覧いただけます。公共施設にも置いてあります。

さらなるごみ減量に向けて

日野市・国分寺市・小金井市の3市ごみ減量推進市民会議設置に向けた協定を締結しました

平成32年からの可燃ごみの共同処理に向け、広く市民に発信すべき情報やさらなるごみ減量に向けた施策を、3市の市民とともに、一緒に検討する市民会議を設置するため、4月20日（金）に協定を締結しました。



3市ごみ減量推進市民会議の市民委員を募集します！（2面へ）

今号の主な内容

- （仮称）3市ごみ減量推進市民会議の市民委員を募集 ……… 2面
- 2020年（平成32年）からプラスチック類ごみの分別収集がはじまります ……… 4～5面
- 生ごみ減らそう！ 生かそう！ 大作戦！ ……… 6～7面
- まだ使える家具はリサイクル事務所へ ……… 8面

この情報誌「エコー」は、環境（Environment）と協力（Cooperation）の頭文字が皆さまのもとへ響き、それが大きな反響となって広がっていくことを願って名づけました。
また、題字には、ごみがどんどん減っていき、最終的には0「ゼロ」に近づいて欲しい、という思いも込められています。皆さまのご意見、ご感想をお寄せください。

ごみゼロマンがやってきた!

▲子供たちは真剣なまなざしでごみゼロマンに注目

幼稚園・保育園の年長組を対象に毎年ごみゼロマンと市職員がごみ分別のお話をしています。

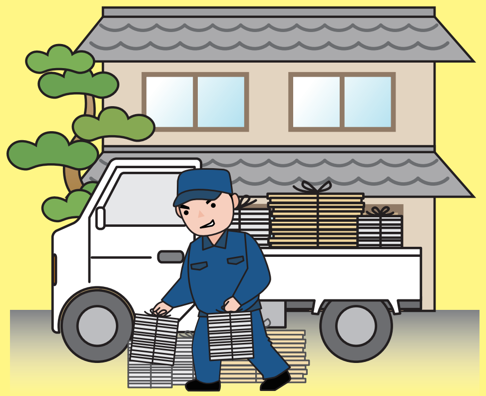
「物を大切にする」「まだ使える物は使う工夫をする」「食べ残しをしない」、この3つの約束を子供たちが守ってごみの減量を心掛けるように、ごみゼロマンがクイズや紙芝居で分かりやすく説明しています。

資源の持ち去りを目撃したときは、ごみゼロ推進課へご連絡ください

資源物の持ち去りが増えています。特に雑誌・雑紙は一部を抜き取ったり、全部を持ち去るケースが発生しています。

市では、指定収集業者以外は、各家庭から排出された資源物を収集、運搬してはならないとしています。

資源の持ち去りを目撃したときは、危険を伴う場合があるので直接声を掛けずに、場所、時間、車両ナンバーなどの情報提供をお願いします。警察と連携したパトロールの際の情報として活用させていただきます。



全国ごみ不法投棄監視ウイーク

監視強化にご協力を

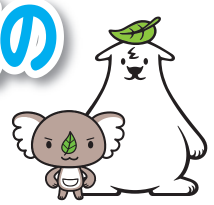
環境省では、5月30日（ごみゼロの日）～6月5日（環境の日）の1週間を「全国ごみ不法投棄監視ウイーク」として位置付け、不法投棄ゼロに向けての取り組みを行っています。

市内でも、ごみの不法投棄が増えており、不法投棄をなくすためにはそれを見逃さないことが大切です。不法投棄の現場を発見した場合は、警察への通報などにご協力ください。

不法投棄ゼロに向け、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

3市の市民と共にさらなるごみ減量に向けて検討を行う

(仮称)3市ごみ減量推進市民会議の市民委員を募集



可燃ごみの共同処理を行う日野市・国分寺市・小金井市では、さらなるごみの減量を推進するため、3市の市民・行政で施策の検討を行う（仮称）3市ごみ減量推進市民会議を設置します。

市民会議では、共同処理をめぐる日野市の状況や3市覚書の内容など、市民への情報提供・発信方法やさらなるごみ減量を推進していくための施策について協議します。

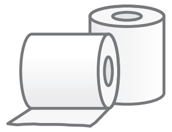
ごみ減量に関心のある方で、会議に参加できる方のご応募をお待ちしています。ごみゼロ社会に向け、ぜひ皆さまの知恵と力をお貸しください。

任　期	平成32年3月末まで
開催場所	市内を予定
開催回数	平成30年度は2回の開催予定 第1回会議は8月頃
対　象	ごみ減量に関心を持ち、平日昼間2時間程度の会議に参加できる市内在住者
募集人数	2人※申込多数の場合は選考。選考結果は6月下旬ごろ郵送
謝　礼	1回の会議参加に対し3,000円
申　込	6月5日（火）（必着）までに〒191-0021石田1-210-2日野市クリーンセンターごみゼロ推進課（FAX586-6606 ✉gomizero@city.hino.lg.jp）へ郵送、Eメールまたは持参。A4用紙（書式自由）に、作文「これからの3市（日野市・国分寺市・小金井市）におけるごみ減量の進め方について」（800字程度）、住所、氏名、年齢、電話番号を記入※提出書類は返却しません
問い合わせ先	ごみゼロ推進課（☎581-0444）

はがきリサイクル事業

市内郵便局にご協力いただき、はがき回収ボックスを平成30年1月15日～2月16日に設置し、使用済みはがきの回収を行いました。回収したはがきはクリーンセンターにおいて市職員の立ち合いのもとシュレッダー車により、細かく裁断されました。その後、溶解処理業者を経由し、新たな紙やトイレットペーパーなどに変わります。

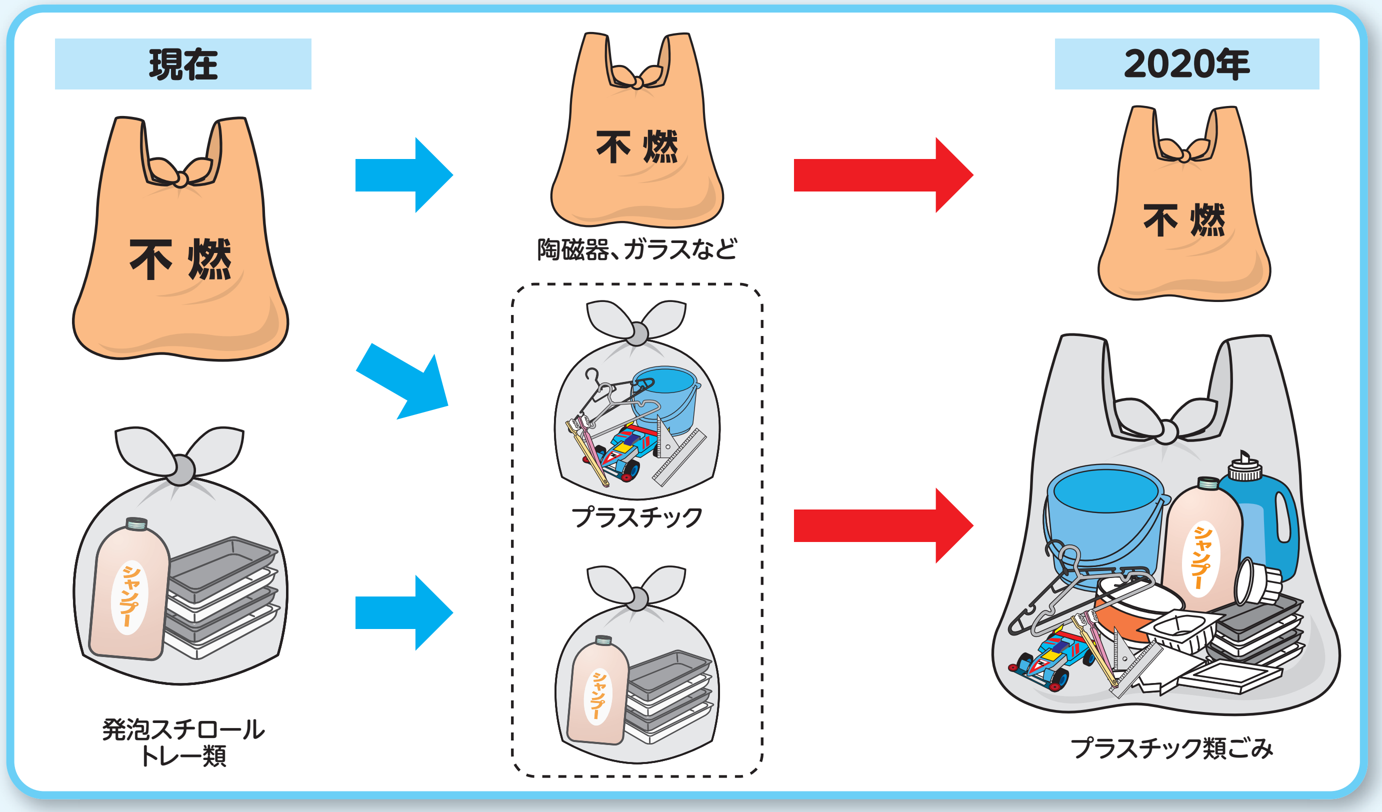
今回は17郵便局で1，110kg（85箱）のはがきが集まりました。



2020年から（平成32年）プラスチック類ごみの分別収集がはじまります

2020年（平成32年）1月から、プラスチック類の分別収集を開始します。市民の皆さまには、現在の不燃ごみ（1週に1回収集）のうち、プラスチック類ごみとトレー類（4週に1回収集）を一緒に、新たな「プラスチック類ごみ（プラごみ）」の日に、排出していただくようになります。

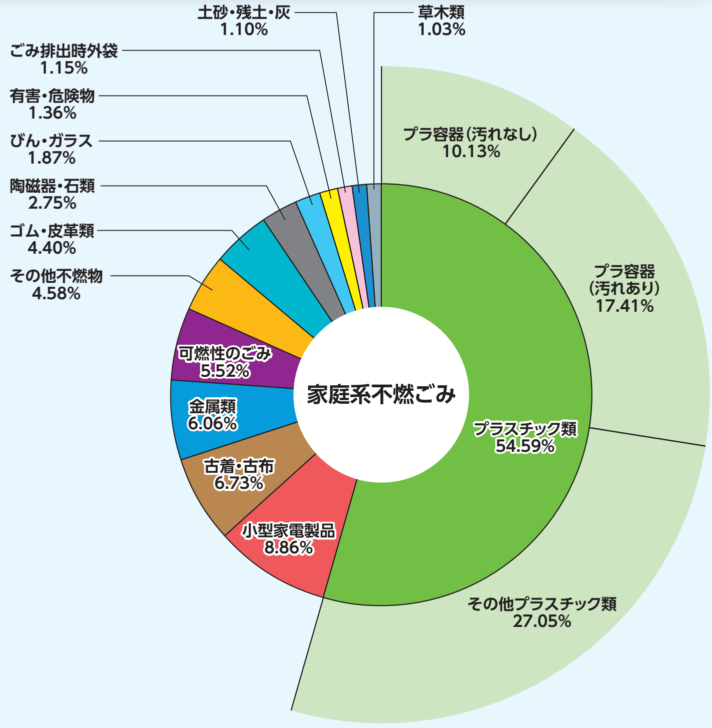
これから「プラスチック類ごみの分別収集」について、エコー や広報でお知らせしていきます。今号では、不燃ごみのうち、プラごみがどれくらいを占めているか、またプラごみにはどのようなものがあるかをまとめてみました。



現状の不燃ごみの中身

不燃ごみの組成分析
（平成27年度調査結果から）

プラスチック類は約5～6割ですが、残りの不燃ごみのうち、可燃ごみや資源ごみを除くと不燃ごみの約8割がプラスチック類となっています。



プラごみの具体例

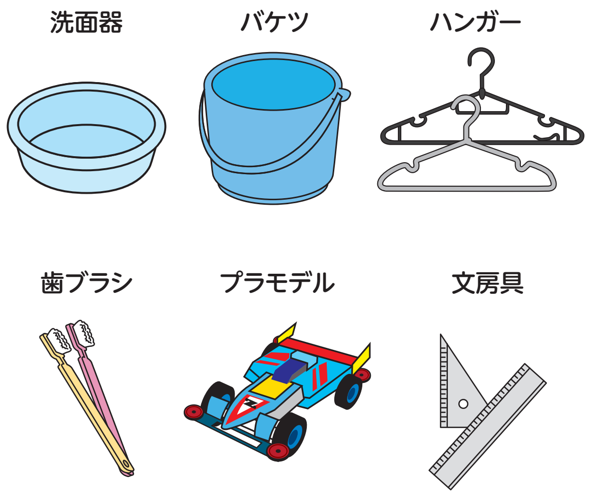
プラごみは、大きく2つに分かれます。

①プラスチック製容器包装

ほかにも、シャンプーなどのボトル類など

「容器」「包装」とは、商品を入れたり包んだりしているもので、中身を出したり使ったりすると不要になるものです。

②製品プラスチック



製品プラスチックは、プラマークのない、硬いプラスチック素材だけでできている製品です。

プラスチック類資源化施設建設工事の状況について

市では、新可燃ごみ処理施設稼働（平成32年度予定）に合わせて、さらなるごみの減量と資源化の推進を図るため、プラスチック類資源化施設を実施設計中です。

7月頃に工事地元説明会を、8月頃からプラスチック類資源化施設の本体工事着工を予定しています。安全配慮や環境対策などを徹底していきますので、ご理解とご協力をお願いします。

市民のページ 目指せごみゼロ 知恵袋 Part35

生ごみリサイクルサポーター連絡会が
企画・編集したコーナーです。
生ごみリサイクルサポーター募集中!

生ごみリサイクルサポーター連絡会とは、
生ごみの減量と堆肥化を推進する組織で、
市民21人で構成されています。

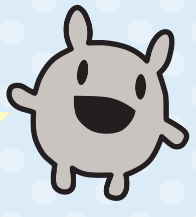
生ごみ減らそう! 生かそう! 大作戦!

「菌ちゃん野菜づくり」とは

土に生ごみを埋めると、土の中にいる目に見えない「菌ちゃん」（微生物のこと）が、その生ごみを食べて分解します。生ごみを食べると、「菌ちゃん」は土の中でどんどん増えます。「菌ちゃん」がたくさんいる土は、栄養たっぷりの、ふかふかの土になります。このふかふかな土で育てた野菜は、味が濃く、えぐみのないおいしい野菜になります。

ビタミンや、ミネラル類はもちろんのこと、この野菜には植物特有の「ファイトケミカル」と呼ばれる栄養が多く含まれていて、これらを上手にとることにより、抗酸化力や免疫力が高まるとも言われています。

おいしい野菜を育てて、食べて、病気になりにくい元気な体になるという、環境だけでなく人にもうれしい循環が生まれます。



「菌ちゃん」
目には見えない微生物のこと

菌ちゃん野菜づくり

市立幼稚園の全園で 取り組み中
表現力・思考力・判断力を育てます

家庭から野菜くずを持ち寄り、幼稚園の土に混ぜ込んで「土づくり」

数日後、土の様子を見てみると・・・

子供たちは、発見したことや感じたことをお互いに伝え合います

生ごみが完全に発酵、分解したら、種や苗を植え野菜を育てて収穫。
生ごみ堆肥を利用するので、農薬も化学肥料も不要です。

食べ物への感謝・大切さを学べます

ダンボールコンポスト 補助金適用500円で始められます!

ダンボールコンポストとは、ダンボールの中で微生物（菌ちゃん）の働きにより生ごみを分解、堆肥化する生ごみ処理器のこと。

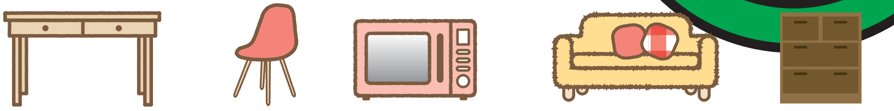
1日約500g以下の生ごみを入れ、3～5カ月ほど使用できます。その後1カ月ほどねかせ、生ごみが完全に分解されると生ごみ堆肥となります。

この生ごみ堆肥を土に混ぜて使うことで元気な野菜や花を無農薬・無化学肥料で育てることができます。

市推奨のダンボールコンポストセットは補助金適用500円で購入できます（年度で1人2つまで）。

申込 電話、ファクスまたはEメールで
問 ごみゼロ推進課（☎581-0444 FAX 586-6606）
✉gomizero@city.hino.lg.jp

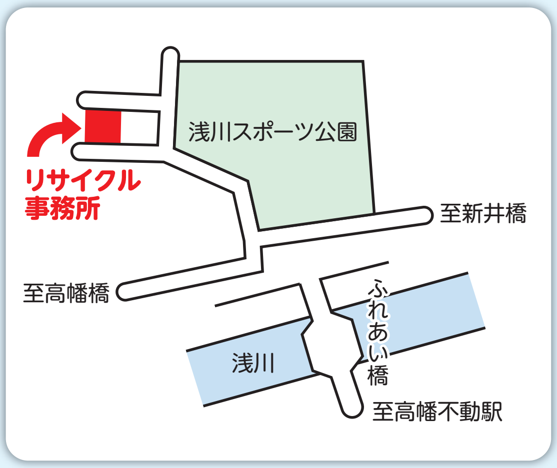
まだ使える家具は
リサイクル事務所へ



市が粗大ごみとして回収したタンスや食器棚などは、全てごみとして破砕処理しています。
まだ使える家具は、リサイクル事務所に引き取ってもらえば、再生してリユース（再使用）できます。
粗大ごみにお申し込みになる前に、ぜひご検討ください。
なお、リサイクル事務所では家具のほか、家電製品、健康器具、オーディオ類、食器類も取り扱っています。

所在地 万願寺６－５－６　※右図参照
電話 ☎581－5960
受付時間 毎日9：30～16：30（年末年始を除く）

※リサイクル事務所 HP（http://www.hino-recycle.org/）では販売している品物の一部が価格・写真付きで公開されています。ぜひご覧ください。
※リサイクル提供品を引き取りに伺う場合は有料です。引き取り手数料は、おおむね粗大ごみ処理手数料の半額です。
※リサイクル事務所に直接持ち込む場合は、引き取り手数料は無料です。
※品物の状態・在庫状況などにより、お引き取りできない場合がありますので、必ず事前に電話でご確認ください。



シルバーいきいき祭り&リサイクルフェア開催

5月26日(土)
10:00～14:00
小雨実施

飲食物の出店のほか、来場者全員対象のスピードくじではリサイクル品のOFF券など、豪華景品が当たります。掘り出し物を探しに、ぜひお越しください！ ※再生自転車の販売はありません
その他 シルバー人材センター主催
会場・問 リサイクル事務所（☎581-5960）

浅川清流環境組合からのお知らせ

平成29年11月から、新可燃ごみ処理施設の建築工事が始まりました。現在は基礎工事の段階です。工事の進行状況は「浅川清流環境組合ニュースVOL.6」（3月発行）で紹介しています。なお、組合 HP（http://cms.upcs.jp/asakawa/）でもご覧になれます。ぜひ、ご覧ください。

問 浅川清流環境組合（☎589-0555）